

是より殺生石に行。館代より馬に送らる。

此口付のものを、「短尺得させよ」と乞。ヤヤ

き事を望む侍るとしのかながと。

一般

段級

〔奥の細道〕

黒羽を出発して、殺生石に向かう。伝説にある玉藻前が九尾の狐としての正体を暴かれ、射殺されたあと石に変化したという、その石が殺生石だ。黒羽で接待してくれた留守居役家老、浄法寺氏のはからいで、馬で送ってもらったことになった。すると馬の鼻緒を引く馬子の男が、「短冊をくれ」という。馬子にしては「風流なこと求めるものだ」と感心して、

